

大間原子力発電所 現地調査における指摘事項について(地震・津波関係)

No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
S2-109	敷地地質	地質・地形、 全般事項	現地調査	平成30年11月15日	dF断層系の上載地層である敷地内の大畑層について、石英等の鉱物の特徴や模式地との関係を整理し説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-110	敷地地質	地質・地形、 全般事項	現地調査	平成30年11月15日	Tf-5(a)トレンチの北側法面上部の東端の大きい礫が存在する付近の岩盤は、易国間層とされているが色調からはローム層や第四系の堆積物のようにも見える。確認のうえ地質性状、地層境界など、適切な地質観察が行われていることを説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-111	敷地地質	cf系	現地調査	平成30年11月15日	cf-3断層の走向・傾斜及び複合面構造と変位センスとの関係について、Tf-4トレンチでの底盤スケッチ・写真も含めて説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-112	敷地地質	cf系	現地調査	平成30年11月15日	Tf-5(a)トレンチの南側法面において、cf-3断層の左上から派生し、シームS-11をずらしている筋状構造について、cf-3断層と底盤で合流する形状となっている。当該箇所を再度確認・整理し、筋状構造とcf-3断層との関係を説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-113	敷地地質	cf系	現地調査	平成30年11月15日	Tf-5(a)トレンチにおいて、cf-3断層は南側法面では逆断層のように見えるが、北側法面では正断層のように見える。なぜこのように見えるのか整理し説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-114	敷地地質	dF系	現地調査	平成30年11月15日	df-2断層と上載地層である大畑層の関係に関して、より拡大した写真・スケッチを提示し、易国間層と大畑層との不整合面と断層面との性状等を整理し説明すること。なお、大畑層のスケッチを作成する際は、大畑層内の礫の配列等の構造が分るように記載すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-115	敷地地質	dF系	現地調査	平成30年11月15日	大間層とデイスaitとの境界部に関して、ボーリングコア、薄片等を再度確認するとともに、A'-7孔で、デイスaitと大間層とが繰返し出現すること、大間層のシルト層の変形構造が確認されることも考慮のうえ、デイスaitが貫入岩であるか検討し説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-116	敷地地質	後期更新世に 生じた変状	現地調査	平成30年11月15日	Ts-8トレンチ北側法面の岩盤中に、現状で変位を伴う不連続面によりシームS-11に段差が生じている箇所があるのでスケッチ等で分かるように表現すること。さらに、その変位を伴う不連続面の延長上の第四系中の変位の有無を確認し説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-117	敷地地質	後期更新世に 生じた変状	現地調査	平成30年11月15日	Ts-8トレンチにおいて、不連続面E29が下部に向かって変位が認められなくなることについて、不連続面末端付近の葉理に変位があるかどうか重要である。ブロックサンプリング試料のCT解析や条線観察のデータ等を整理し、変位の有無を説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-118	敷地地質	後期更新世に 生じた変状	現地調査	平成30年11月15日	Ts-6法面において、シームS-11以外にも粘土を挟在する「変位を伴う不連続面」や、スケッチに記載されていない変位が認められた。このような構造もスケッチに記載したうえで、Ts-6法面やTs-8トレンチでの変位を伴う不連続面の変位量の分布を説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-119	敷地地質	後期更新世に 生じた変状	現地調査	平成30年11月15日	Ts-6法面では変位箇所を挟んだ両側の基盤岩にも上面標高に若干の差異が生じていた。基盤岩上面標高を確認し、差異の理由を説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-120	敷地地質	後期更新世に 生じた変状	現地調査	平成30年11月15日	Ts-6法面におけるシームS-11の延長上の「不明瞭な不連続面」は明瞭に確認できる。表現等を整理し説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S2-121	敷地地質	後期更新世に 生じた変状	現地調査	平成30年11月15日	Ts-6法面のシームの延長上に変位が認められる箇所において、上盤側にシームが付着している理由を考察し説明すること。	H31.2.12ヒアリング H31.3.11ヒアリング H31.4.5会合
S1-69	敷地周辺 地質	地質・地形、 全般事項	現地調査	平成30年11月16日	折戸付近の文献断層に関して、本日確認した海岸付近では、敷地に比べて大間層が急傾斜となっていることから断層が存在する可能性があると考えている。海岸付近の露頭等のデータ、地層・地質境界に関するデータ等を再度確認し、整理・検討したうえで断層の有無等について説明すること。	H31.4.23ヒアリング 2019.6.21会合
S1-70	敷地周辺 地質	地質・地形、 全般事項	現地調査	平成30年11月16日	弁天島の離水した平坦面をMIS5cの侵食面とした場合、B面と比べて広く平坦な形状で残る理由を考察し説明すること。	H31.4.23ヒアリング 2019.6.21会合

大間原子力発電所 現地調査における指摘事項について(地震・津波関係)

No.	分野	項目	指摘場所	指摘日	コメント内容	回答日
S1-71	敷地周辺地質	下北半島西部の隆起	現地調査	平成30年11月16日	ハネコエ島付近の大間崎背斜の露頭について、以下の確認等を行いスケッチ・写真を審査会合資料として説明すること。 ・下方に見られる渦状の構造や、露頭左側に確認されたせん断構造について、観察された事実をスケッチに的確に記載するとともに、背斜構造等との関係について考察を加え説明すること。 ・スケッチを作成する際は、走向・傾斜を再度確認し、代表的な箇所の値を記載するなど整理するとともに、地層の厚さを記載するなど、定量的な判断がし易いようにすること。	H31.4.23ヒアリング 2019.6.21会合
S1-72	敷地周辺地質	下北半島西部の隆起	現地調査	平成30年11月16日	ハネコエ島付近の大間崎背斜の露頭に関しては小規模な褶曲構造という事で本日確認したが、以前の審査会合で説明された大間崎背斜についてはどのような定義で、どのような規模のものなのか、重力・密度構造解析から推定されている敷地の東方の背斜構造も含めて説明すること。	H31.4.23ヒアリング 2019.6.21会合
S5-39	津波	津波堆積物	現地調査	平成30年11月15日	津波堆積物ボーリングコアに関して、OM-5のリカバリー孔の深度1.5m付近の砂状の堆積物について、堆積物中の礫の状況など再度確認し、イベント堆積物等であるか否か再度検討し説明すること。 また、リカバリー孔についても審査会合資料として説明するとともに、補足説明資料等で該当データを提示すること。	2019.6.5ヒアリング 2020.5.11ヒアリング(予定)

コメントNo.の凡例 (1列目) __H: ヒアリングでのコメント, S: 審査会合及び現地調査でのコメント

(2列目) __1: 敷地周辺地質, 2: 敷地地質, 3: 地下構造, 4: 地震, 5: 津波, 6: 火山, 7: 地盤・斜面

注) 項目のうち「第四系中の変状」(第700回審査会合までの記載)については「後期更新世に生じた変状」に改称。

: 回答済み